

岩手県大槌町林野火災に伴う緊急消防援助隊の帰隊報告式を執り行いました

令和8年4月22日に岩手県上閉伊郡大槌町で発生した大規模な林野火災に対し、当組合から派遣していた緊急消防援助隊が全任務を完了し、無事に帰還いたしました。これに伴い、石橋地区消防組合本部において帰隊報告式を執り行いましたのでお知らせいたします。



活動の概要

今回の林野火災は、小鎚地区で約466ヘクタール、吉里吉里地区で約1,187ヘクタールを焼失(精査中)する甚大な被害をもたらしました。当組合からは令和8年4月24日の出動指示を受け、栃木県大隊の一翼として第1次隊から第4次隊(9日間、計28名)までを継続的に派遣しました。現地では、険しい地形の中、他県の部隊や航空部隊と連携し、消火活動にあたりました。



宿営地の様子



活動の様子

今後に向けて緊急消防援助隊としての活動を通じて得た知見や、他本部との連携経験は、私たちの管轄エリアにおける災害対応力向上に直結するものです。石橋地区消防組合は、今後も広域的な協力体制を堅持し、市民の皆様の安心・安全を守るため、技術の向上と組織力の強化に努めてまいります。